



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

【URL】 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2024年10月1日

報道関係各位

札幌市と「ボトル to ボトル試行事業」を実施 ～協働事業により PET ボトルの循環利用を推進～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄 正太）は札幌市（市長：秋元 克広）と同市の市民等が排出する PET ボトルの一部を資源循環型リサイクルとして再生利用することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・経済・社会を目指すことを目的とした「ボトル to ボトル試行事業」を実施いたします。本事業の契約期間は2024年10月1日から2025年9月30日の1年間となります。

つきましては、下記のプロセスの通り実施いたしますので、ご案内申し上げます。

札幌市における「ボトル to ボトル試行事業」プロセス



本事業は、使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する「ボトル to ボトル」の取り組みにおいて協働するもので、札幌市が回収する使用済み PET ボトルの一部を、粉碎・洗浄などの各工程を経て再原料化いたします。そして本事業にて再生された PET 原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用いたします。

当社はコカ・コーラシステムが目指す「容器の 2030 年ビジョン」において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび本事業を通じて、当社と札幌市は市民・事業者・行政の三者が一体となり、北海道内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

※石油由来の PET ボトルから 100%リサイクル PET ボトルに切り替えた場合

当社は「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



はずす はがす かえす

つぎのボトルへリサイクル!

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：西川 TEL 011-888-2091

【参考資料】

■コカ・コーラシステムの取り組み

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」のもと「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内のプラスチック資源の循環利用を推進しています。

PETボトルについては、2018年に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2025年までにすべてのPETボトル製品へのリサイクルPET樹脂などのサステナブル素材[※]の使用、2030年までに販売した自社製品と同等量のPETボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。2021年5月には「コカ・コーラ」「い・ろ・は・す」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入。また、2020年より販売しているラベルレス製品の販売拡充を行い、容器1本あたりのPET素材使用量の削減（軽量化）にも継続的に取り組んでいます。

コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進による100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。

[※] 「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材



参考URL

(<https://www.cocacola.co.jp/content/dam/journey/jp/ja/sustainability/resources/2022/resources-2030vision.pdf>)

■当社の水平リサイクル推進の取り組み

・「第71回さっぽろ夏まつり～北海盆踊り～」や「第33回YOSAKOIソーラン祭り」などへのブース出展による啓発活動

2024年8月に大通公園で開催された「第71回さっぽろ夏まつり～北海盆踊り～」のほか、第33回YOSAKOIソーラン祭りの大通会場では自動販売機上部に、ボトルtoボトルを推進することの重要性を訴求する掲示物の貼付を行いました。



■ ボトループファクトリーの出展



■ YOSAKOIソーラン祭りでの自販機訴求